

不妊治療専門クリニック併設漢方外来にて半夏厚朴湯の使用経験と妊娠症例について

浅井淑子 森本義晴

HORAC グランフロント大阪クリニック

### 【目的】

当院は不妊治療専門クリニックであるが、漢方外来を併設し、不妊に悩む女性のために不妊のみならず様々な体の不調に対応している。その結果妊娠という本来の目標に達することも少なくない。今回、半夏厚朴湯処方し、妊娠した症例について後方視的に検討し報告する。

### 【対象と方法】

当院漢方外来で管理し、半夏厚朴湯内服中の妊娠例 3 例について検討した。

### 【結果】

症例 1 37 歳 主訴：腰が冷えやすい。漢方学的診断：水滯・気滯 処方後に自然妊娠成立。

症例 2 44 歳 主訴：食欲あるが食べられない 胃の不調、過少月経 漢方学的診断：気血両虚、水滯・気滯 3 ヶ月後体外受精にて妊娠成立した。

症例 3 43 歳 緊張時の嘔気、胃腸不良、手足冷え、くよくよしやすい 漢方学的診断：梅核気あり 7 ヶ月後に体外受精にて妊娠成立した。

### 【考察】

不妊治療中の患者は、精神的にストレスがかかり、気の異常をきたしやすいと考える。このようなストレスを抱えた不妊患者には本剤を含めた理気剤が有効に働き、様々な不調を改善するだけでなく、妊娠に向けても良い結果を導くことができると考えられた。

理気剤の代表である、半夏厚朴湯の併用で妊娠成立に至った 3 例を経験した。このうち 2 例は 40 歳以上ですでに複数回の体外受精治療歴を有しており一般的には治療困難症例であった。漢方的な視点を持って診療し、不妊患者のストレスや体の不調を取ることも不妊治療の一環であると実感した。